

日和佐診療所からのお知らせ

日和佐診療所は、海部郡医師会が実施する「海部郡救急医療当番」に参加しています。

9月・10月の当番診療日

診療日	診療時間
9月10日(金)	18時～21時
9月29日(水)	18時～21時
10月14日(木)	18時～21時
10月17日(日)	9時～17時
10月29日(金)	18時～21時
10月30日(土)	18時～21時



当番診療日は、内科医が診察します。診察を希望される方は、左記診療時間内にお越し下さい。なお、診療日は変更になることがあります。ご了承ください。

日和佐診療所 - 臨床ノート -

「頭痛」

No.13

内科：増田健二郎 医師

頭痛は私たちが日常的に経験する症状です。15歳以上の日本人の慢性頭痛の頻度は約40%とされています。私たちが調べた結果では徳島県の教師では約60%にみられ、男女別にみると女性に多く(67.6%)、男性48.5%の1.5倍ほどでした。一次性(日常的にある頭痛、いつもの頭痛)のうち頻度が多いのは緊張型頭痛で押さえつけるような頭痛で運動すれば改善することが多いとされています。片頭痛はズキズキと心臓の拍動に合わせて痛む頭痛で体を動かすと痛みが増します。当然2つが混じったものもあります。また、まれに群発頭痛というものもあります。緊張型頭痛は一般の市販薬を含む鎮痛薬が使われます。一方、片頭痛は吐いたり寝込んだりすることも多く、これらの薬剤は効果が不十分で、トリプタンという薬剤が用いられます。これらの頭痛の型を見極めて適合した薬剤を選択することが必要です。しかし、気をつけて戴きたいのは二次性頭痛(原因疾患がある頭痛)で、クモ膜下出血や脳腫瘍など生命を脅かす怖い病気が潜んでいることがあります。いつもと違う、初めて経験する頭痛、だんだん強くなっていく頭痛があれば医療機関でCT等の精密検査を受けることが必要です。

内科の診療は、月曜日～金曜日
9時～12時 / 14時～17時

【お問い合わせ】 日和佐診療所 ☎ 77 - 1212